

「道の駅」の今後の方向性

～第3ステージの実現に向けて～



ライブ配信



オンデマンド配信

開催内容

「道の駅」の制度創設から30年以上が経過し、各地における創意工夫のもと様々な特色ある「道の駅」が誕生するとともに、社会情勢の変化により求められる役割も増えている。今回は、令和2年から進めている「道の駅」第3ステージの取組をはじめ、「道の駅」の現状と今後の展望・方向性等について専門家の皆様からご講演いただきます。

プログラム

日程：9月5日（金）13:30～15:00

オンデマンド配信：9月11日～10月13日

講演1 13:30～14:00

「道の駅」第3ステージの取組等について

講師：浦岡 優（国土交通省 道路局 企画課 評価室 企画専門官）



北海道大学工学部環境社会システム工学科卒業。国土交通省入省後、北海道開発局道路計画課課長補佐、内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付参事官補佐、北海道局地政課開発専門官等を経て、2025年7月から現職。

「道の駅」第3ステージの中間評価と今後の方向性、令和7年4月の道路法改正（「道の駅」の防災機能強化）等について紹介します。

講演2 14:00～14:30

道の駅と地域デザイン～第3ステージを迎えて～

講師：加藤 はと子（全国「道の駅」女性駅長会 会長）



新潟県内2つの道の駅に駅長として従事。現場経験のあるアドバイザーとして、全国の自治体にアドバイザー業務を行っている。また、全国の道の駅の現場を繋ぐ役割として業界の発展に努めている。「道の駅」国上（新潟県燕市）相談役。

第3ステージを迎えた道の駅が取り組んでいること、道の駅を中心とした地方創生の形を解説します。

講演3 14:30～15:00

メディアが注目する道の駅とは？

～NEW OPEN&リニューアル成功事例に学ぶ「選ばれる道の駅」の条件～

講師：芝谷 千恵子（元じゃらん編集長）



2017年より旅行情報誌『じゃらん』の編集長として観光業界のトレンドやカスタマー動向の分析に注力。メディアを通じて地域観光の活性化に貢献。2025年3月に退職後、編集制作やブランディング企画の立案・講演、ワークショップ等を通じて、地域とカスタマーをつなぐ活動を展開中。

「道の駅」第3ステージでさらなるニーズが高まる中、約850駅を訪問or取材してきた講師がメディア注目の成功事例を分析し、話題性創出のポイントを実務者向けに解説します。

申し込み方法

参加を希望される方は、当協会ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。



■参加費

日本道路協会

会員 3,000円
非会員 5,000円

講習会にご参加頂いた方には、今後のセミナー内容や開催方法等に関するニーズを把握するためのアンケート調査にご協力いただきますので、よろしくお願いします。

お知らせ



本セミナーは、土木学会CPD制度の認定セミナーとなっており、土木技術者の皆様の知識向上や自己研鑽の証跡となるCPD単位が取得可能です。